

令和7年度 会派調査研究報告書

(視察先 1 か所につき 1 枚)

会派名	国民民主党	
出席者	渡邊愛彦	
事業名	地方議会研究会「自治体病院関連質問で地域の医療を守る特別研修」にビデオ参加	
事業区分	①研究研修	②調査

1. 韮崎市での課題と研修・調査の目的

韮崎市の韮崎市立病院は、令和7年度決算において、看護師不足並びに常勤外科医の退職が重なり、入院患者が大幅な減少となったことなどにより減収を余儀なくされ、費用の増加もあり、大幅な赤字決算を余儀なくされる見込みである。市からの基準外繰入金を受け入れても、債務超過に陥る可能性が高い状況です。令和8年度当初予算でも、業績の回復はなかなか厳しい見込みで、引き続き大幅な赤字を見込み、市からの基準外繰入金を見込んでおり、債務超過が更に拡大する状況で、市の財政を圧迫する。このような状況下の市立病院の改善を図るため、自治体病院について良く理解する必要があり、その上で議会においてしっかりとした一般質問を行うためにも専門の研修を受ける必要性を感じ、本研修に参加することにした。

2. 実施概要

実施日時	令和8年2月9日～2月10日実施研修の資料とビデオを取り寄せ独自学習
視察先	
担当部局	地方議員研究会
報告内容	令和8年2月9日～10日に東京で実施された地方議員研究会主催の「自治体病院関連質問で地域の医療を守る特別研修」をテーマとした2日間の議員研修に日程が合わず直接参加できなかったため、資料とビデオを取り寄せ勉強した。講師はこの分野で多くの著書があり、研修やアドバイザーとしての実績が豊富な城西大学経営学部の伊関友伸教授。講義の内容は「No1自治体病院と地方財政の基礎」「No2参加自治体病院の現状把握」「No3必ず成果が出る質問の取り上げ方」「No4病院改革から病院経営強化へ」の4テーマだった。特に、No1の病院事業に係る地方交付税措置についての解説やNo4では「入院患者の増加策」「療養病棟の介護医療院への転換」「診療報酬加算」「人間ドックの拡充」「看護師不足に対する対応策」等が具体的な指摘で韮崎市立病院でも見習うべき重要なアドバイスだと思った。セミナー費用は6万円とやや高かったが、今後に活かすことができる素晴らしい研修内容だった。今後の議会質問等に活かし、病院業績改善に貢献したい。

感想（まとめ） ・ 市政に活かせること	1. 運営状況 地方議員研究会が主催する研修へは今回が初めてだった。講師の伊関友伸教授はこの分野の権威者の一人であり、とても勉強になった。今回は対面講義に参加できずビデオ参加となったが、次回は出来たら対面講義に出て、参加者との意見交換等を行いたい。
	2. 考察（これらの取り組みを韮崎市にどう活かせるか） 本研修で自治体病院に関する基礎知識が得られたので、韮崎市立病院の業績改善のため役立つものがないか、検討してみたい。なお、診療報酬加算に関する知識の向上が病院の経営状況を把握するためのものも重要であるので良く勉強していきたい。韮崎市立病院の決算や予算を改めて分析し、他の自治体病院や民間病院の状況も参考にして、問題点や課題を把握の上、今後の議会質問につなげて行きたい。

※写真等がある場合は添付すること